

Ⅱ. 回答者の属性（市民調査）

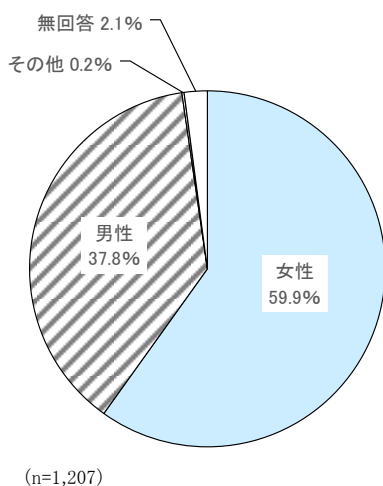
データを解釈するうえでの留意点

本調査の回答者集団は、本市の母集団に比べて、男性は50歳以上の年齢層が多く、その結果、男性の回答は50歳以上の意識がより多く反映されている。前回調査の結果と比較している設問についても、男性は前回調査に比べてより高い年齢層の意識が多く反映されている。また、本調査の調査対象数についても前回調査（4,000人）から1,000人（男女各500人）減らし3,000人となっている。

このことから本調査結果については、以上の点を考慮のうえ、解釈することが必要である。

1. 性別

【回答者の性別】



【参考】母集団（令和2年（2020年）10月1日現在）と
前回調査の回答率

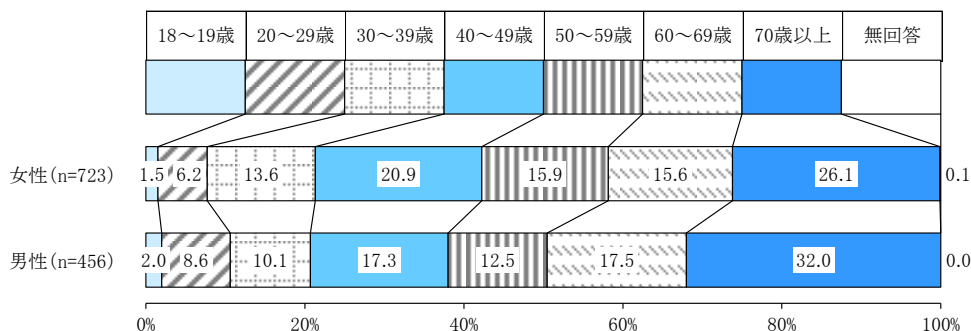
		女性	男性	その他 無回答	計
母 集 団	人口(人)	182,241	160,356	—	342,597
	構成比	53.2%	46.8%	—	100.0%
前回調査 回答率・構成比		57.5%	42.1%	0.4%	100.0%

回答者の性別では、「女性」が59.9%、「男性」は37.8%で、女性の回答者の方が多くなっている。「その他」は0.2%、無回答は2.1%となっている。

令和2年（2020年）10月1日現在の母集団人口の構成比同様、男性に比べ女性の割合が上回っている。また、母集団に比べ、今回調査回答者は女性で7ポイント程高く、男性で9ポイント低くなっている。

2. 年齢

【回答者の年齢】



【参考】母集団(令和2年(2020年)10月1日現在)と前回調査の回答率

		18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計
母集団	女性(人)	3,787	20,504	24,706	32,627	29,151	22,207	49,259	—	182,241
	構成比	2.1%	11.3%	13.6%	17.9%	16.0%	12.2%	27.0%	—	100.0%
	男性(人)	3,926	19,711	23,360	30,787	27,905	20,408	34,259	—	160,356
	構成比	2.4%	12.3%	14.6%	19.2%	17.4%	12.7%	21.4%	—	100.0%
前回調査 回答率	女性・構成比	—	7.1%	14.8%	19.4%	15.5%	17.5%	25.5%	0.3%	100.0%
	男性・構成比	—	6.8%	12.3%	16.5%	15.8%	20.8%	27.2%	0.6%	100.0%

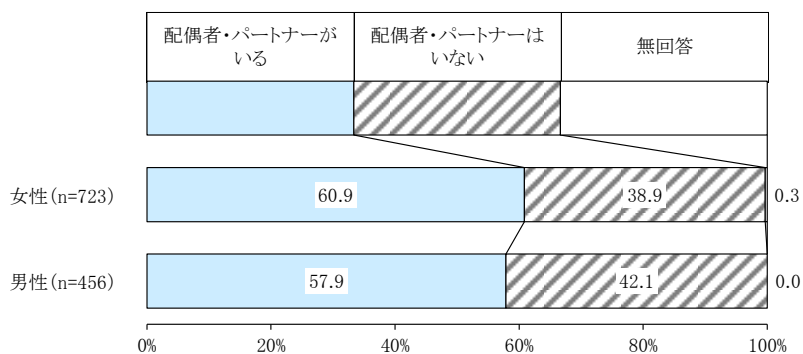
<性別>

回答者の年齢では、女性では「70歳以上」が26.1%で最も多く、次いで「40~49歳」が20.9%、「50~59歳」が15.9%となっている。一方、男性では「70歳以上」が32.0%で最も多く、次いで「60~69歳」が17.5%、「40~49歳」が17.3%となっている。前回調査の結果に比べ、29歳以下の回答が増えている。

令和2年(2020年)10月1日現在の母集団人口の構成比に比べ、男女とも20歳代の割合が低い。30歳代以上をみると、女性は母集団人口構成比との差が男性に比べて小さく、60~69歳でも3.4ポイント差となっている。一方、男性では、30歳代・50歳代の割合は母集団構成比に比べ4~5ポイント程度低く、60歳代の割合が4.8ポイント、70歳以上の割合が10.6ポイント高くなっている。

3. 配偶者・パートナーの有無

【配偶者・パートナーの有無】



<性別>

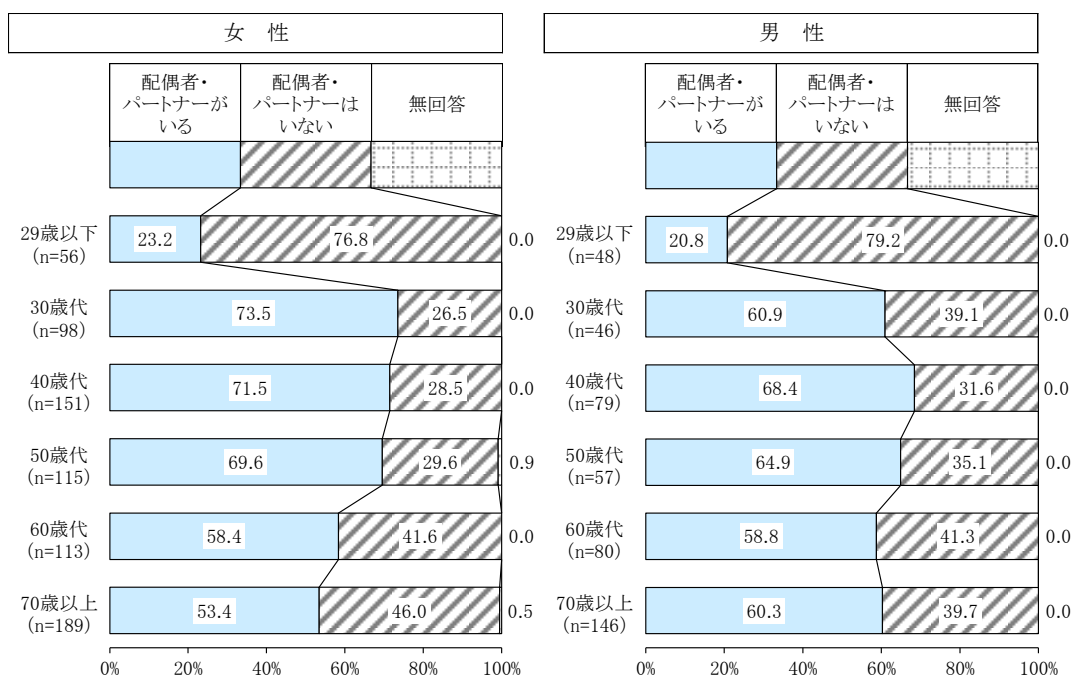
「配偶者・パートナーがいる」割合が、女性 60.9%、男性 57.9%である。

<性・年代別>

男女ともに、30歳代以上で「配偶者・パートナーがいる」が50%以上を占めており、女性では30歳代、男性では40歳代でその割合が高くなっている。

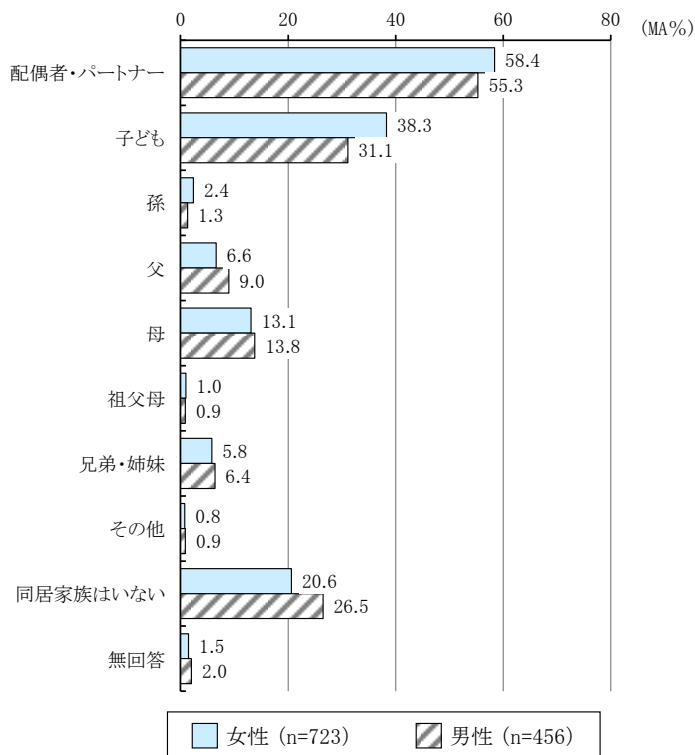
30歳代では、「配偶者・パートナーがいる」が、女性 73.5%、男性 60.9%と、10ポイント程の差がみられた。

【性・年代別】

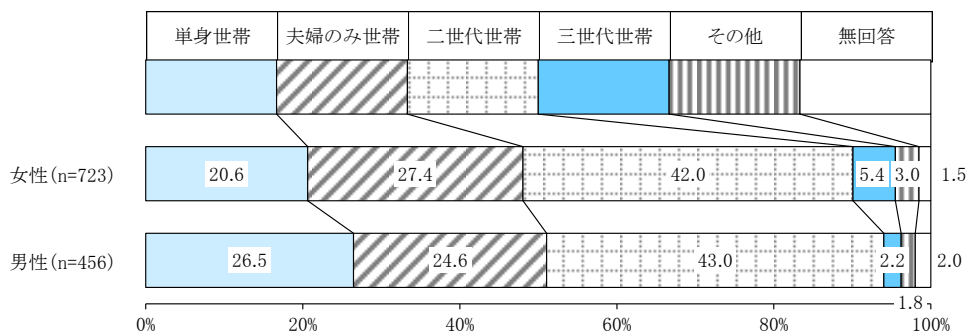


4. 同居家族

【同居家族】



【家族構成】



<性別>

同居している家族では、男女とも「配偶者・パートナー」が5割台で最も多く、次いで「子ども」が3割台となっている。

家族構成では、男女とも「二世帯世帯」が4割台で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が2割台となっている。「単身世帯」では、女性20.6%、男性26.5%で、男性の方が5.9ポイント高くなっている。

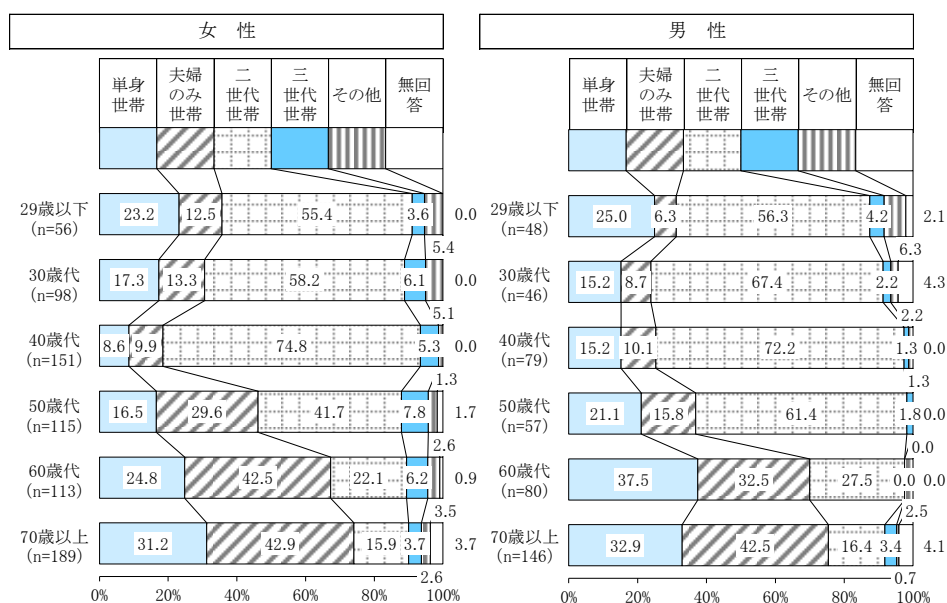
<性・年代別>

女性では、40歳代以下で「二世帯世帯」が50%以上を占めており、特に40歳代は74.8%と高くなっている。60歳代以上の各年代では、「夫婦のみ世帯」が最も多く、次いで「単身世帯」となっている。

男性では、50歳代以下で「二世帯世帯」が50%以上を占めており、特に30～40歳代では70%前後と高くなっている。60歳代では「単身世帯」、70歳以上では「夫婦のみ世帯」が最も高くなっている。

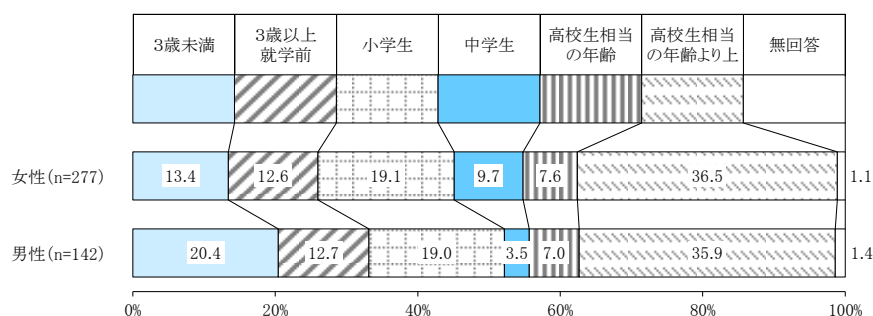
50歳代では、「二世帯世帯」の割合が、女性41.7%、男性61.4%と、20ポイント程の差がみられた。

【性・年代別 家族構成】



5. 末子年齢

【末子年齢】

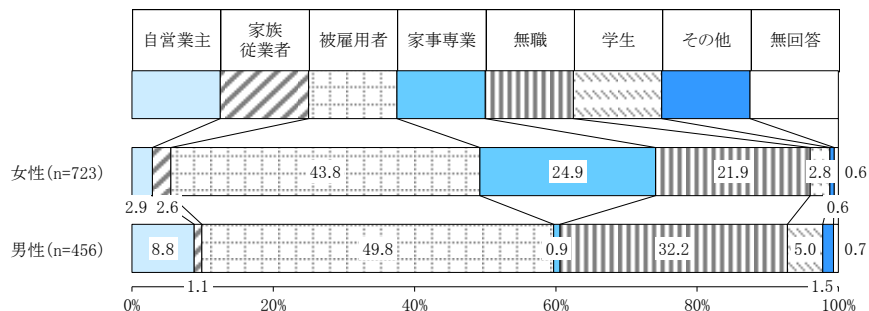


<性別>

子どもと同居している人に、一番下の子どもの状況をたずねたところ、「高校生相当の年齢より上」が男女とも3割台で最も多くなっている。また、「3歳未満」は女性が13.4%で、男性(20.4%)に比べ7.0ポイント低くなっている。「小学生」では男女で差はないが、「中学生」では女性(9.7%)に比べ、男性(3.5%)は6.2ポイント低くなっている。

6. 職業

【回答者の職業】



<性別>

女性の職業では、「被雇用者」が43.8%で最も多く、「自営業主」(2.9%)と「家族従業者」(2.6%)も含め、就労している女性は49.3%となっている。また、「家事専業」が24.9%で2番目に多く、次いで「無職(年金生活を含む)」が21.9%となっている。一方、男性の職業では、「被雇用者」が49.8%を占めており、「自営業主」(8.8%)と「家族従業者」(1.1%)も含めると、就労している男性は59.7%となっている。また、「無職(年金生活を含む)」が32.2%と続いている。

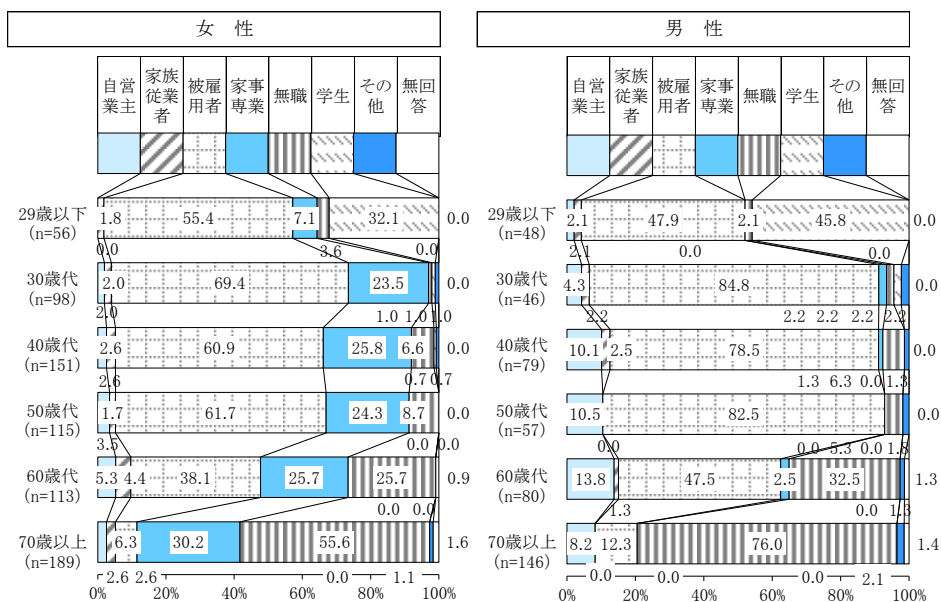
<性・年代別>

女性では、50歳以下で「被雇用者」が50%以上となっている。60歳代で「被雇用者」、70歳以上で「無職」が最も多くなっている。また、30歳代以上で「家事専業」が20%以上を占めている。

男性では、30~50歳代で「被雇用者」が80%前後を占めている。60歳代で「被雇用者」、70歳以上で「無職」が最も多くなっている。

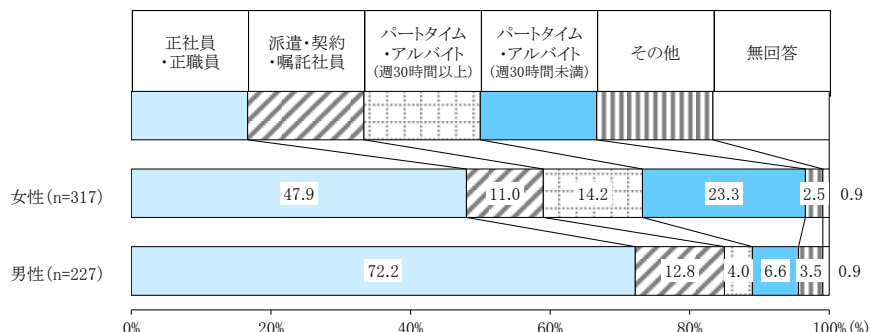
30~50歳代で、女性の「被雇用者」が男性に比べて10ポイント以上低く、30歳代以上で女性の「家事専業」の割合が男性に比べて20ポイント以上高くなっている。

【性・年代別】



7. 雇用形態

【回答者の雇用形態】



<性別>

職業を被雇用者と回答した人に、雇用形態をたずねたところ、男女とも「正社員・正職員」が最も多くなっているが、女性は47.9%で男性(72.2%)に比べ24.3ポイント低くなっている。次いで、女性では「パートタイム・アルバイト(週30時間未満)」が23.3%、「パートタイム・アルバイト(週30時間以上)」が14.2%、「派遣・契約・嘱託社員」が11.0%となっており、これら非正規雇用の割合は48.5%で男性(23.4%)に比べ25.1ポイント高くなっている。

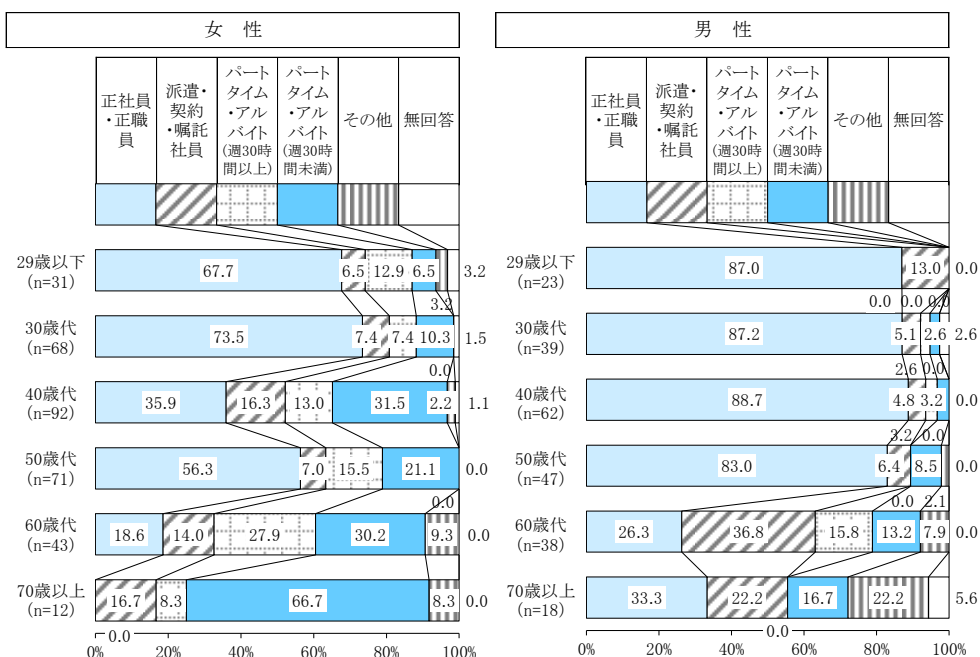
<性・年代別>

女性では、「正社員・正職員」が30歳代以下で70%前後を占めており、40歳代で35.9%、50歳代で56.3%と最も多くなっている。60歳代以上では「パートタイム・アルバイト(週30時間未満)」が最も多くなっている。

男性では、50歳代以下で「正社員・正職員」が80%以上を占めている。

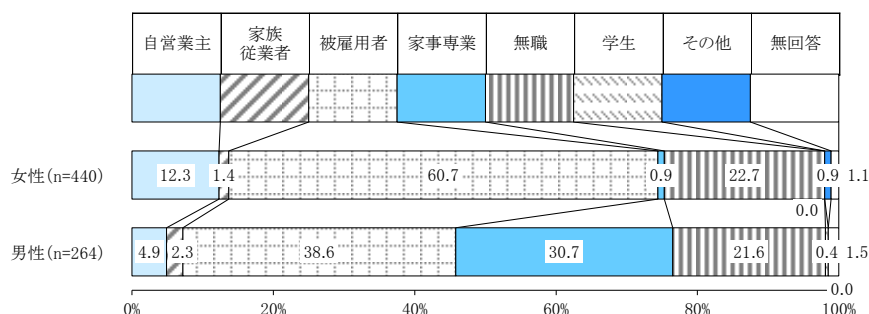
40歳代では、「正社員・正職員」の割合が、女性35.9%、男性88.7%と、50ポイント程の差がみられた。

【性・年代別】



8. 配偶者・パートナーの職業

【配偶者・パートナーの職業】



<性別>

女性本人の配偶者・パートナーの職業では、「被雇用者」が60.7%で最も多く、次いで「無職（年金生活を含む）」が22.7%、「自営業主」が12.3%となっている。一方、男性本人の配偶者・パートナーの職業では、「被雇用者」が38.6%で最も多く、次いで「家事専業」が30.7%、「無職（年金生活を含む）」が21.6%となっている。「被雇用者」の割合は女性が男性に比べて22.1ポイント高くなっており、「家事専業」の割合は女性が男性に比べて29.8ポイント低くなっている。

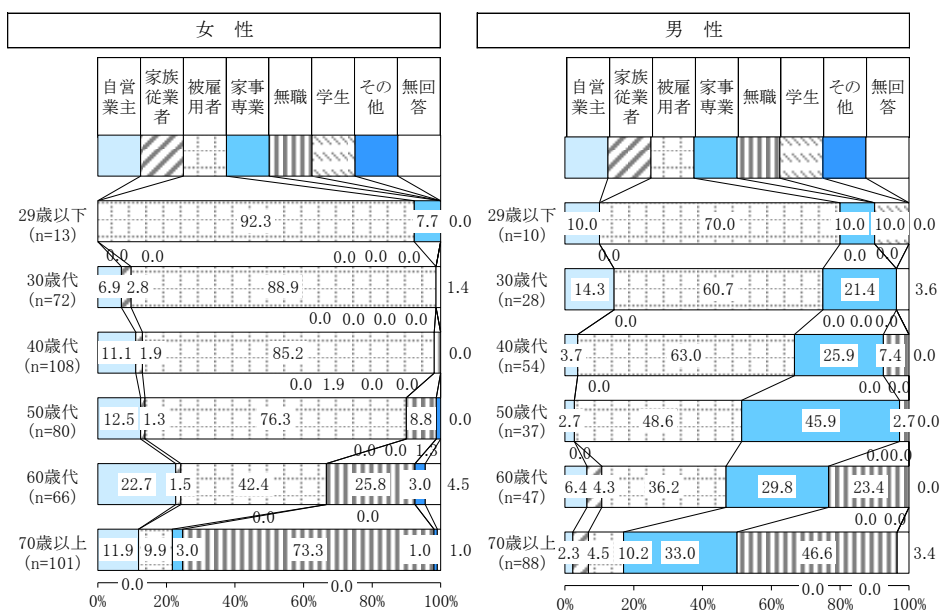
<性・年代別>

女性では、50歳以下で「被雇用者」が70%以上を占めている。60歳代で「被雇用者」、70歳以上で「無職」が最も多くなっている。

男性では、40歳以下で「被雇用者」が60%以上を占めており、50歳代で「家事専業」が45.9%と「被雇用者」と並んでいる。60歳代では「被雇用者」、70歳以上では「無職」が最も多くなっている。

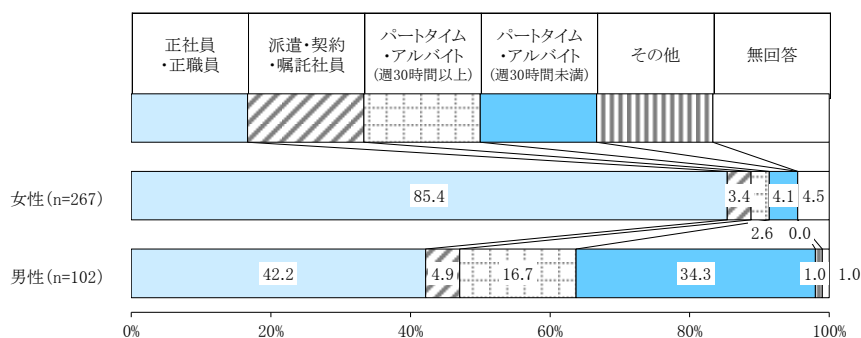
50歳以下で、女性の「被雇用者」は男性と比べて20ポイント以上高く、30歳以上で女性の「家事専業」が20ポイント以上低くなっている。

【性・年代別】



9. 配偶者・パートナーの雇用形態

【配偶者・パートナーの雇用形態】



<性別>

配偶者・パートナーの職業が被雇用者と回答した人に、配偶者・パートナーの雇用形態をたずねたところ、女性本人の配偶者・パートナーでは「正社員・正職員」が85.4%を占めている。

一方、男性本人の配偶者・パートナーでは「正社員・正職員」が42.2%で最も多くなっているものの、「パートタイム・アルバイト (週30時間未満)」(34.3%)、「パートタイム・アルバイト (週30時間以上)」(16.7%)、「派遣・契約・嘱託社員」(4.9%)を合わせた非正規雇用の割合は55.9%となり、「正社員・正職員」より多くなっている。

<性・年代別>

女性では、「正社員・正職員」が50歳代以下で90%以上を占めている。

男性の年代別の回答者数が少なく、参考値ではあるものの、40歳代以下で「正社員・正職員」が最も多く、50歳代以上では「パートタイム・アルバイト (週30時間未満)」が最も多くなっている。

【性・年代別】

